



# Facial Recognition

## 医療スタッフの負担を軽減した安全医療を実現します

医療機関において、受付・診察・検査・施術など各所での本人確認は安全な医療に欠かせない基本作業となっています。本人確認において、医療スタッフの負担を軽減し、患者様取り違えのリスクを軽減するために、キヤノンは高精度な認証技術\*1を用いたFacial Recognitionを提供します。

\*1 Labeled Faces in the Wild データセットを使用した自社評価結果で99%以上の認識率を達成しています

### ● 本人確認支援による医療スタッフの負担軽減

診察や検査の際にカメラで患者様を発見し、照合結果を通知します。これにより、医療スタッフが患者様に応対する負担を軽減するとともに、患者様取り違えによる誤診リスクを軽減できます

### ● 顔画像と患者情報を紐付けた一元管理

APIを用いて、院内システムの患者情報とFacial Recognitionの顔画像が紐付けたシステムを構築することが可能になります\*2。これにより、顔認証による再診受付などが可能となり、受付スタッフの負担を軽減することができます

\*2 別途、システム構築が必要です

例) 検査室での本人確認のイメージ



例) 総合病院受付での顔登録のイメージ



## ■ 機能紹介

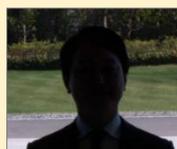
- ネットワークカメラの映像もしくは静止画から人物の顔を登録します
- 登録人物の発見をリアルタイムでポップアップ通知もしくは、XProtectのイベント機能により、メールやパトライトで通知します
- マスクやサングラス着用時も顔認証が可能です
- XProtectに接続可能な約9,000種類ものネットワークカメラに対応できます
- APIを使用して、外部システムとの連携が可能です\*3

\*3 別途、システム構築が必要です

### ● 顔認証用AE

AE(自動露出補正)により逆光でも顔認証が可能

カメラメーカーだからこそ可能な自動露出補正技術を搭載しています。検査室などの明暗があっても顔が見づらくても、顔認証に適した露出に自動で補正します



露出補正前  
(顔が識別できない露出)



露出補正後  
(顔認証に適した露出)